

JACS

NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第11巻第3号

発行日● 2003年8月10日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第26回コンファレンス概要

統一論題：環境問題と消費者行動

去る2003年6月6日、7日の両日、東大阪市の大阪樟蔭女子大学・小阪キャンパスにおいて、第26回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。今回のコンファレンスは、自由論題・統一論題という2部からなる構成で、多数の研究報告が行われました。

自由論題研究報告では、以下の8つの研究報告が行われました。

「消費者とブランドの関係の構造と測定尺度の開発」

畑井佐織(学習院大学)

「戦略的選好形成のための連用経験効果の定量化」

芳賀麻誉美(女子栄養大学)

水野 誠(筑波大学)

「自己及び他企業のTV広告量バランスによる価格需要曲線の変化

—ニューラルネットワークの衣料用洗濯洗剤データへの適用—」

上田隆穂(学習院大学)

藤居 誠(学習院大学大学院)

劉 寧(学習院大学大学院)

杉山洋一(学習院大学大学院)

「情報提示実験による情報の信頼性形成過程の研究」

根本則明(甲南大学)

「百貨店の購買履歴データを用いた店舗内買回り行動の分析」

鶴見裕之(立教大学大学院)

中山厚穂(立教大学大学院)

「高齢者と新製品の購買ーライフステージでみた高齢者の購買行動」

上田雅夫(財団法人流通経済研究所)

「インターネット上の情報の所在と広がりについての分析」

新井範子(専修大学)

植竹朋文(専修大学)

「日本の消費者の特質に関する一考察ー本質と周辺という分析枠組みを中心にー」

平野英一(九州産業大学)

統一論題では、テーマを「環境問題と消費者行動」として、玉川大学の青木道代助教授をコーディネーターに5つの研究報告が行われ、活発な意見交換が行われました。

「“グリーン・コンシューマー”の再検討」

明神実枝(神戸大学大学院)

「環境配慮型行動に対する認識と購買行動との関連性」

西道 実(プール学院大学)

木下広美(応用社会心理学研究所)

岩井 洋(関西国際大学)

東 正訓(追手門学院大学)

吉田純子(応用社会心理学研究所)

永野光朗(大阪樟蔭女子大学)

「環境に配慮した商品の購買要因について」

青柳みどり(独立行政法人国立環境研究所)

「外因性内分泌かく乱物質に対するリスク認知と消費行動」

杉本徹雄(上智大学)

花尾由香里(上智大学大学院)

「循環型社会構築に向けての環境コミュニケーションと説明責任」

森下 研((株)エコマネジメント研究所)

この他に、2日目には青木道代助教授の司会による「循環型社会の実現を目指して」というテーマのもとで、西尾チヅル(筑波大学)・森下研((株)エコマネジメント研究所)・川島康弘(滋賀県)の4氏によるシンポジウムが開催されました。

また、今年度からの新会長による講演として、江原淳教授(専修大学)に「役に立つ消費者行動研究」について語っていただきました。



第27回消費者行動研究コンファレンスのお知らせ！

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内致します。

第1日目に研究報告と懇親会、第2日目に研究報告と統一論題でのシンポジウムを予定しています。

詳細については、次号のニューズレターで再度お知らせ致します。

開催日程決まる！

11月8日(土)・9日(日)

学習院大学

(東京都豊島区・目白キャンパス)

第27回コンファレンス 自由論題発表募集

11月8日(土)、9日(日)に開催されます第27回消費者行動研究コンファレンスでの自由論題の発表者を募集します。発表日は8日に設定される予定ですが、時間等は未定です。発表順などは事務局で調整させていただきます。なお発表時間は30分程度ですが、発表者数によって若干調整させていただきます。発表者のうち1名が学会員であれば共同発表でも構いません。発表を希望される方は「9月21日(日)～9月30日(火)」の間に、以下の要領で事務局までお申し出下さい。なお論題が本学会にそぐわない場合には、発表をお断りすることがありますのでご了承下さい。

発表を希望される方は、以下の点を事務局までEメールもしくは郵送でお知らせ下さい。折り返し詳細を確認させていただきます。

論題、発表要旨(200字程度)、発表者氏名、発表者の所属機関、発表必要機材
発表者の連絡先(住所・電話番号・Eメールアドレス)

宛先: jacs@jacs.gr.jp / 最終頁に記載の事務局

2002 年度決算報告および 2003 年度予算案

2003年6月6日に開催されました役員会での審議を経て、同日開催されました会員総会において、2002年度の決算報告および2003年度の予算案が下記の通り承認・決定されました。ここに報告します。

| <u>2002年度決算報告</u> | <u>2003年度予算案</u> |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 〔収入の部〕 | 〔収入の部〕 |
| 会費収入(2001/2002)*論文収入含む 3,356,008 円 | 会費収入 * 3,054,000 円 |
| 銀行 1,306,008 円 | 学術会員 @5,000*258 = 1,290,000 円 |
| 郵便 2,050,000 円 | " (院生等) @2,000*102 = 204,000 円 |
| 前年度繰越金(論文集、名簿作成費等) 4,662,276 円 | 個人賛助会員 @5,000* 32 = 160,000 円 |
| 利息収入 434,238 円 | 法人賛助会員 @50,000*28 = 1,400,000 円 |
| 8,452,522 円 | 前年度繰越金 7,551,903 円 |
| | 10,605,903 円 |
| | * 2003年3月31日現在の種別会員数に基づいて算出 |
| 〔支出の部〕 | 〔支出の部〕 |
| 印刷費 254,358 円 | 論文集 * 作成費 2,000,000 円 |
| (会員名簿、ニューズレター) | 第9巻 1,002,500 円 |
| 事務費 646,261 円 | 第10巻(2冊分) 2,000,000 円 |
| (コンファレンス案内、通信費、消耗品、 | 復刻版 1,200,000 円 |
| 振込手数料) | ニューズレター作成費 * 100,000 円 |
| 次年度繰越金 7,551,903 円 | 名簿作成費 * 500,000 円 |
| (論文集、名簿作成費) | 事務費(消耗品、WEB レンタル等) 500,000 円 |
| 8,452,522 円 | 通信費 100,000 円 |
| | 開催校補助費 100,000 円 |
| | 雑費・予備費 3,103,403 円 |
| | 10,605,903 円 |
| | * 一部に送料を含む金額である。 |

上記の通り報告いたします。

事務局担当理事 山本昭二 印

上記の報告を適正なものとして認めます。

監事 桑原武夫 印

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、本頁下部の該当項目に☑をし、FAX ないしは郵便にて事務局宛にご返信頂くか、ご希望の項目を明記の上 e-mail にてご連絡ください。折り返し、会員募集案内(設立趣意書、学会会則、会員リスト、入会申込書、等)をお送りさせていただきます。

入会資格

- [学術会員]** 消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)、およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教暦を有する者、等)。但し、学術会員2名の推薦が必要。
- [賛助会員]** 本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

年会費

- [学術会員]** 5,000 円(但し、大学院生の場合は、2,000 円に減免)
- [賛助会員]** 個人会員 1 口 5,000 円 法人会員 1 口 50,000 円

会員募集案内(入会申込書)の送付を希望します。
第 27 回コンファレンスへの参加を希望します。(懇親会: 参加 不参加)

お名前: _____ ご所属: _____

ご住所: _____

TEL: _____ FAX: _____

E-mail: _____

JACS事務局のご案内

(事務局) 〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155
関西学院大学商学部 マーケティング研究室(山本昭二)
TEL: 0798-54-6375 FAX: 0798-51-0903
Email: sjyama@cvn.bai.ne.jp

(事務取扱) 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39
恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内)
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528
Email: jacs@jacs.gr.jp

*ご入会希望やコンファレンスへの参加お申込み、またお問合せ等は上記までお願い申し上げます。
